

# 学童保育施策の充実を求める署名

2010年 月 日

神戸市長 様

神戸市学童保育連絡会

〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目  
7-9秋毎ビル3F  
TEL 078-360-2728

(署名の趣旨)

少子化時代をむかえるなか、放課後留守家庭の小学生のための学童保育の役割が、ますます重要になってきています。

政府は、今年1月に「子ども・子育てビジョン」を発表し、学童保育の利用児童数を5年間で30万人増とすることを目標とし「放課後児童クラブガイドライン」を踏まえて質的向上を図ることを決めました。また、「幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築」のため「子ども・子育て新システム検討会議」で6月に基本制度案要綱が出され、検討が進められています。

一方で、3年前から始まった「放課後子どもプラン」は、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業(学童保育)」を一体的あるいは連携して進めるとするものです。私たちは、両事業の一体化ではなく、それぞれが両立・拡充すること、とりわけ学童保育事業がその固有の役割にふさわしく充実するよう求めています。

神戸市においては「神戸の放課後児童クラブ(学童保育)の基準」の策定や、地域方式学童保育所へ通う高学年児童への一部加算等、厳しい状況にあっても学童保育の充実に努力は行われています。しかし、まだまだ私たちの求める学童保育には程遠い実情であることも否めません。児童福祉を直接担当する地方自治体が国の積極的な施策を活用し、学童保育を縮小させず、拡充していくことを求めています。

私たちは、3年前の都賀川での水難事故の発生、昨年5月の新型インフルエンザの流行など子どもたちの安全衛生確保の重要性が改めてうきぼりになる中、子どもたちが地域で安心して豊かな放課後をすごせる学童保育所となるように学童保育施策の充実を求めて、以下の諸点について要望をするものです。

## 要 望 項 目

- 1、放課後子どもプランの実施にあたっては、学童保育事業をその役割にふさわしく拡充してください。
- 2、政府の「新待機児童ゼロ作戦」「子ども・子育てビジョン」を踏まえ学童保育の質・量を拡充してください。とりわけ4年生以上の高学年についても学童保育の対象にしてください。
- 3、地域方式学童保育所の安定した運営を保障するために運営助成金、家賃補助を大幅に引き上げてください。
- 4、学童保育指導員の労働条件を改善してください。
- 5、障がいのある子どもが、学童保育所に通いやすいようにしてください。

氏 名	住 所

この署名は、学童保育施策の充実のために神戸市長へ提出するもので、個人情報保護法に基づき、他の目的には使用いたしません。

神戸市学童保育連絡会 連絡先

〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目7-9秋毎ビル3F  
TEL/FAX 078-360-2728  
ホームページ [http://www7a.biglobe.ne.jp/~kobe\\_gkd/index.htm](http://www7a.biglobe.ne.jp/~kobe_gkd/index.htm)  
Eメール [kobe\\_gkd@me.com](mailto:kobe_gkd@me.com)